

FRPカバー補修補強工法の特長

軽量

鋼管杭用(15kg/m²)
鋼管矢板・鋼矢板用
(21kg/m²)共に
軽量である為、
作業のリスク管理が
容易です。

保護能力

FRPカバーは、
耐衝撃性、遮塩性、
中性化等の耐候性に
優れています。

施工性

軽量である為、
狭小地等でも
取回しが容易です。
取付工程が
シンプルの為、
熟練工を要しません。

工期短縮

従来の
転用型枠に比べ、
養生期間が不要な為、
作業期間を
短縮できます。
(従来比1/4短縮)

FRPカバーの性能(各種試験結果)

※クリコンカバー・FRGカバーは同仕様です。

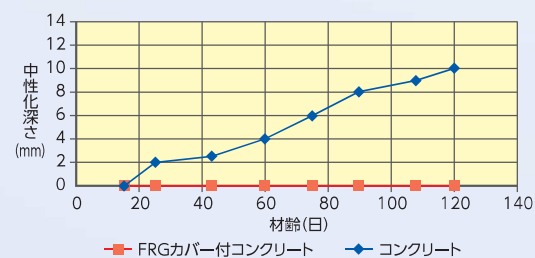
塩分遮断性試験

FRPカバー表面からの
塩分浸透は認められません。

分析位置 試験体表面からの距離(mm)	C1イオン量(%)	
	FRPカバー試験体	コンクリート試験体
0～1	0.00	1.15

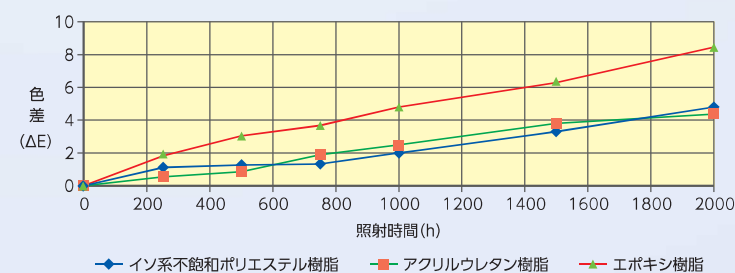
炭酸ガス遮断性試験(中性化抵抗)

FRPカバー付コンクリート試験体では中性化が
進行しません。



耐候試験

FRPカバーに用いているイソフタル酸系ポリエステル樹脂は、
他の樹脂に比べて耐候性能が優れています。



株式会社 **ダイト**

防食・補修・浮桟橋商品部

〒232-0012
横浜市南区南吉田町1丁目13番地2 明光社ビル2階
TEL 045-315-5639 / FAX 045-315-5636
URL <http://www.daito-emc.com/>

FRPカバー補修補強工法

FRP製高耐久性埋設型枠による
既設桟橋・岸壁・護岸の補修補強

N E T I S 登 録 番 号 : KTK-170019-A
水産公共関連民間技術確認審査・評価番号 : 第18-B-001号
静岡県新技術新工法登録番号 : 1646

鋼矢板護岸補修後



鋼矢板護岸補修前



桟橋鋼管杭補修前



桟橋鋼管杭補修後



株式会社 **ダイト**

防食・補修・浮桟橋商品部

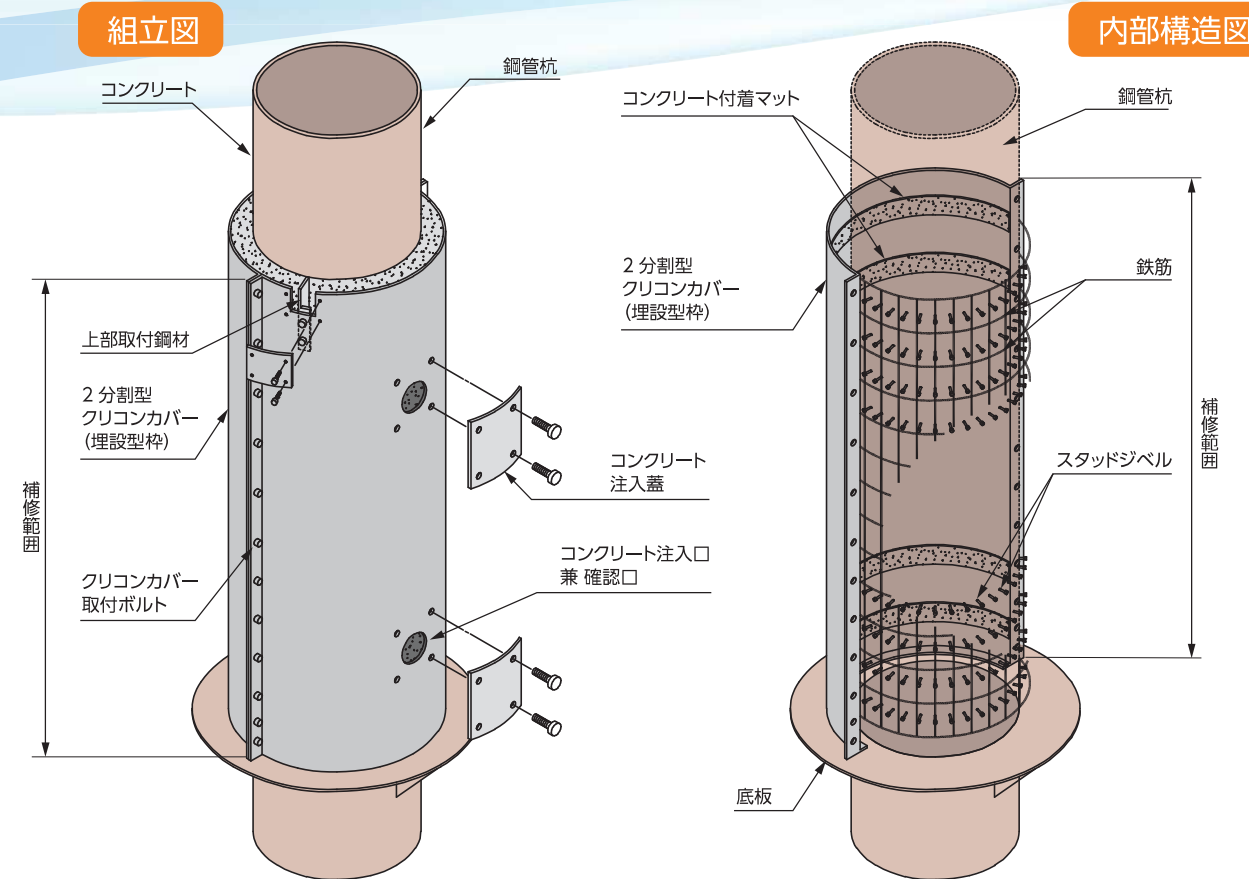
DAITO CORPORATION PRESENTATION

FRPカバーカバー補修補強工法

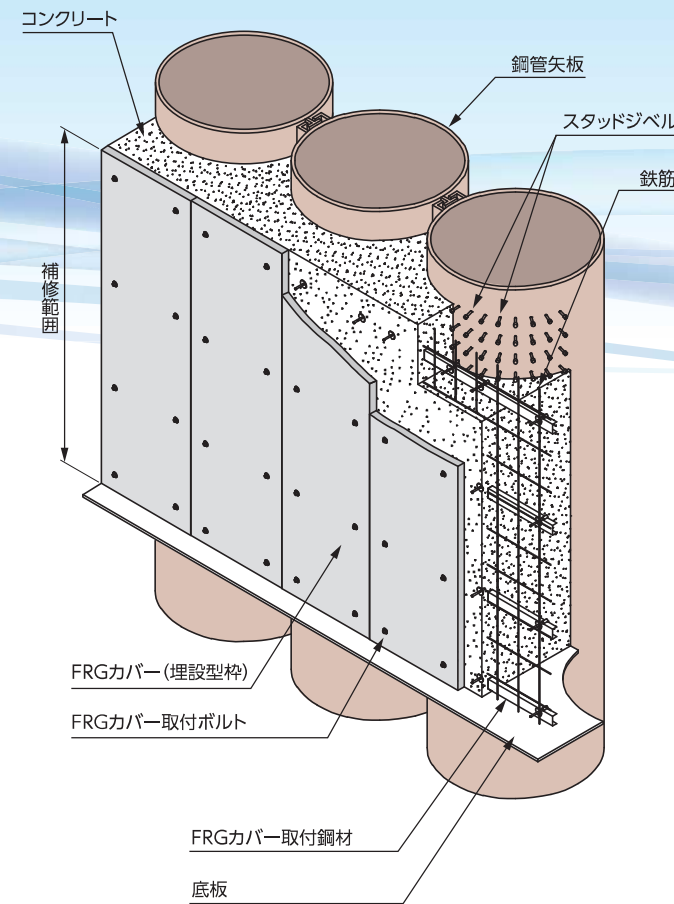
～FRP製高耐久性埋設型枠による既設栈橋・岸壁・護岸の補修補強～

FRPカバー補修補強工法は、FRP製高耐久性埋設型枠を、カバー取付鋼材を介して栈橋の鋼管杭・岸壁・護岸の鋼矢板に設置して、コンクリート被覆を構築する、既設栈橋・岸壁・護岸の補強・補修工法です。カバーは補強リブや付着マットを介してコンクリートと一体化する為、耐候性、遮塩性、中性化等の耐久性及び耐衝撃性に優れたコンクリート被覆を長期間維持することが出来ます。

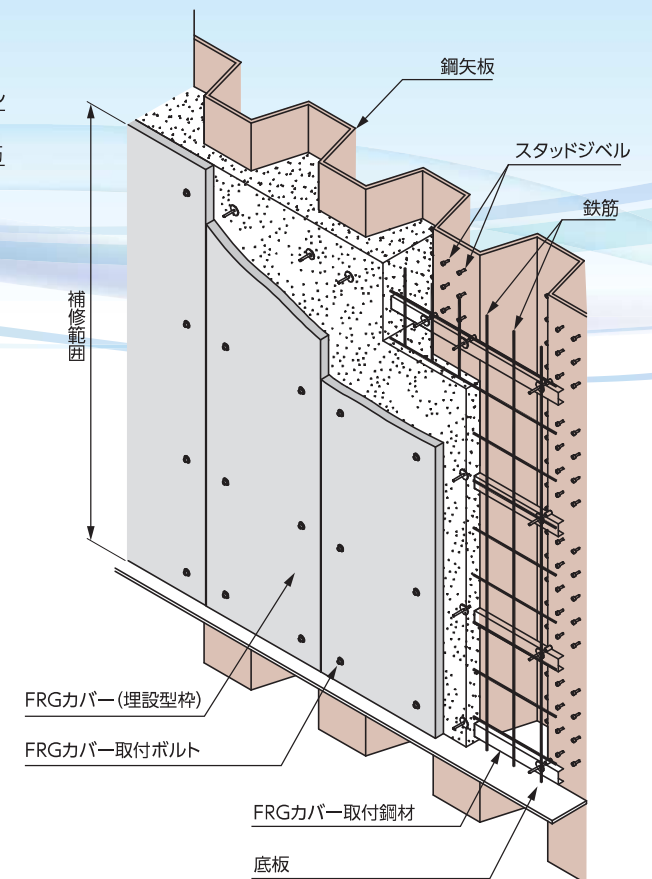
鋼管杭補修 構造概要図



鋼管矢板補修 構造概要図



鋼矢板補修 構造概要図



FRGカバー (表面)



FRGカバー (裏面)



岸壁・護岸用カバー（FRGカバー）は板厚 3mm の FRP（イソフタル酸系不飽和ポリエステル樹脂）製カバーの裏面にFRP（オルソフタル酸系不飽和ポリエステル樹脂）製補強リブ（5mm×7mm）がマス目状に配置されています。これにより現場打ちコンクリートとの付着面積が大きくなり、FRP とコンクリートの一体性が確保されます。
岸壁・護岸用カバーは 1 枚当たり重量が約 60kg(1.0m×3.0m、21kg/㎡) と軽く、人力による取付けが可能です。

クリコンカバー (表面)



クリコンカバー (裏面)



栈橋用カバー（クリコンカバー）は板厚 4mm の FRP（イソフタル酸系不飽和ポリエステル樹脂）製カバーの裏面にコンクリート付着マット（不織布）を配置されています。これにより現場打ちコンクリートとの付着性が大きくなり、FRP とコンクリートの一体性が確保されます。
栈橋用カバーは㎡あたり 15kg/㎡ と軽く、人力による取付けが可能です。